

信頼
して頼
るよ
司
令
官



18禁



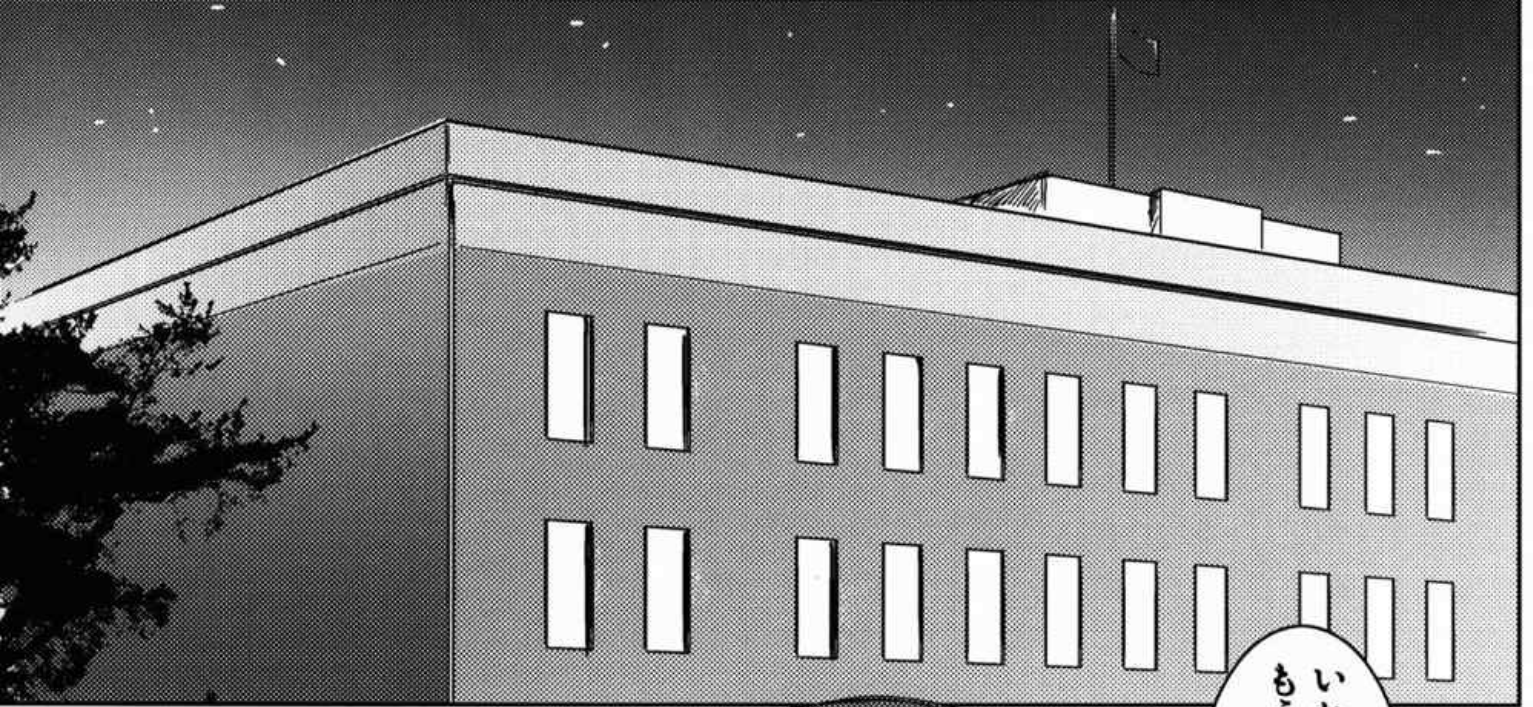
infinity line

● ご挨拶

艦これ、ハマりました。
話題を耳にして、最初はやるまいと思いつつも登録したのが某月。
よもやこれほど盛り上がるとは思っていませんでした。
いまでは置いて行かれています。
そんなのんびり提督ですが、響が心のなにかに触れました。
軍艦なぞこれっぽっちも知りませんでした。史実を調べていくうちに
ますます惹かれて…
そうやって深まっていくのも、艦これのいいところですね。

さて、響本です。
第六駆逐隊みんなかわいくて、みんな出したかったりもしました。
今回は響を愛でることに専念いたします。

それではまた後程。



アハハハハ...

実直なもの
いいが...

無理を
してないか
心配だよ



問題ない
私は秘書艦だからね

トントン



いかな
もうこんな時間か

付きあわせて
悪かったな
響



そうだな
ロシアンティー
でも

...お茶でも
飲まないかな?

そんな
ことは...

...わかった







…沈めたり
しないからな

…心は
落とすのに？



お……



ん……



秘書艦は
私だから……

…ね？



だ 誰に
そんなセリフを……

長門さんが
気を付けろ
って

あの人は……



そうやって
他の娘にも
手を出すのかな？
かな？

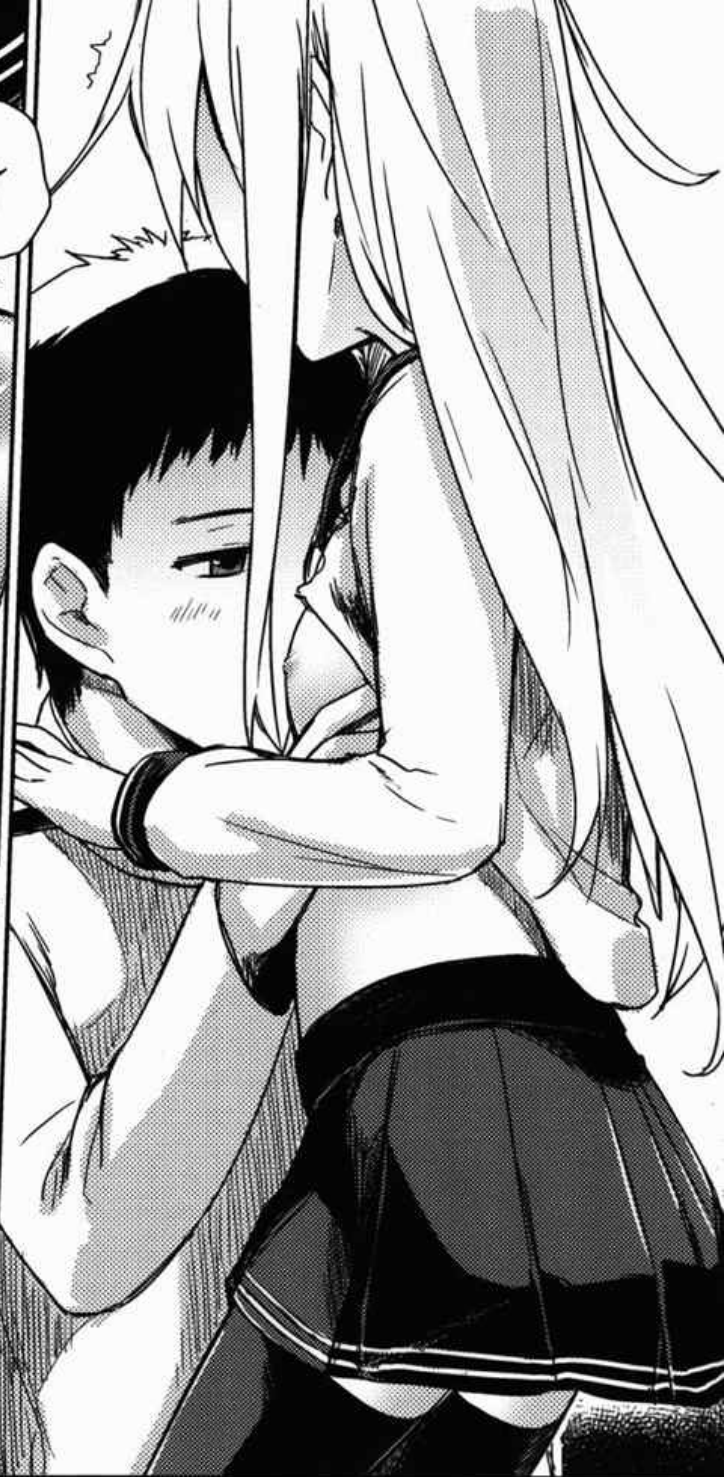
信頼して
いるよ？

ウムウ……

まあ
知っているけどね
か……す……
とかい……や……ら……し……

オーウ……





さて
やりますか

…さすがに
センスが悪いよ
司令官

うーむ…
軍法会議もの
だよなあ

そんなこと
思っていないくせに

ギギ

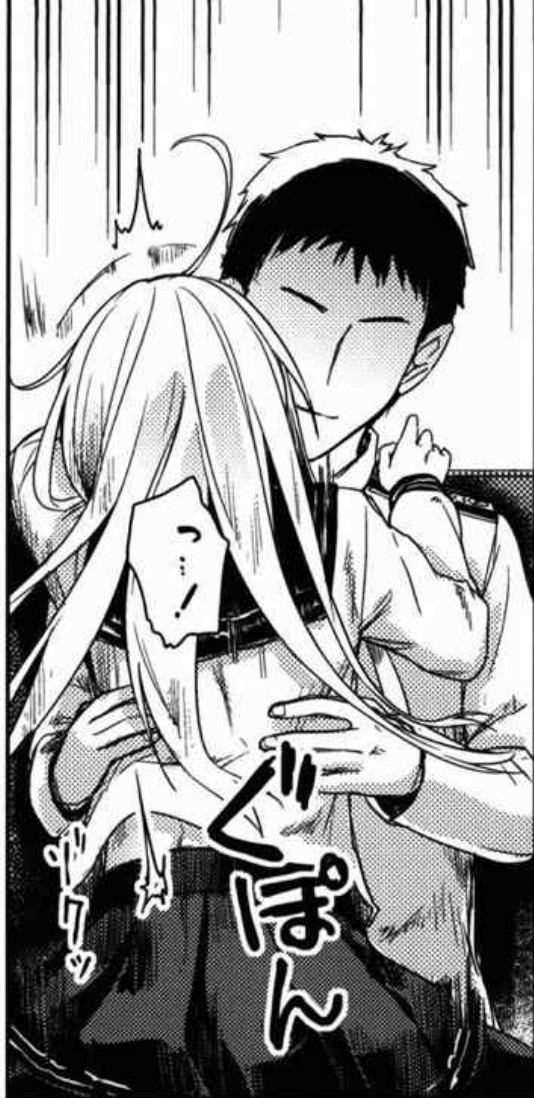
ズル…

は…

ん

ん…

…ズル…



駆逐艦は
小さいな
ね 相対的に

ふう
入った



壊れちゃう

僕としては...



魚雷だったのか
これは

司令官の魚雷も
大きいんだ

ギガッ



ちょっと壊れた
響も魅力的
なんだけれど





ズ...ルッ

ズ...
ズ...
ズ...

ズ...

キシ...
キシ...

最後まで...
一緒に...

ズ...
ズ...

くち...

くち...

ん...

ん...



ずっと…
一緒だ



悲しませたり
しない

わかってる



うん…



きゅん…



きゅん…



ニク

ウウ
ウ
ウ

ガク
ガク

ドク
ドク
ドク

ドク
ドク
ドク



…あつたかい
…な

ん…

ぷぷ…

しいかんの
ぎよらい
ちゆうすいおん

ト
ト
ト

ほっ



なあ響：
この前の件
なんだが：



あとで
直してくるね

少し乱れた
…かな



大丈夫か？
響：

ナカ...



先方には話してあるから
色々勉強になることも
あるだろう

司令官の信頼に
応えられるように
しよう

…だから

ほう…
それは安心だよ

道中は
長門さんたちが



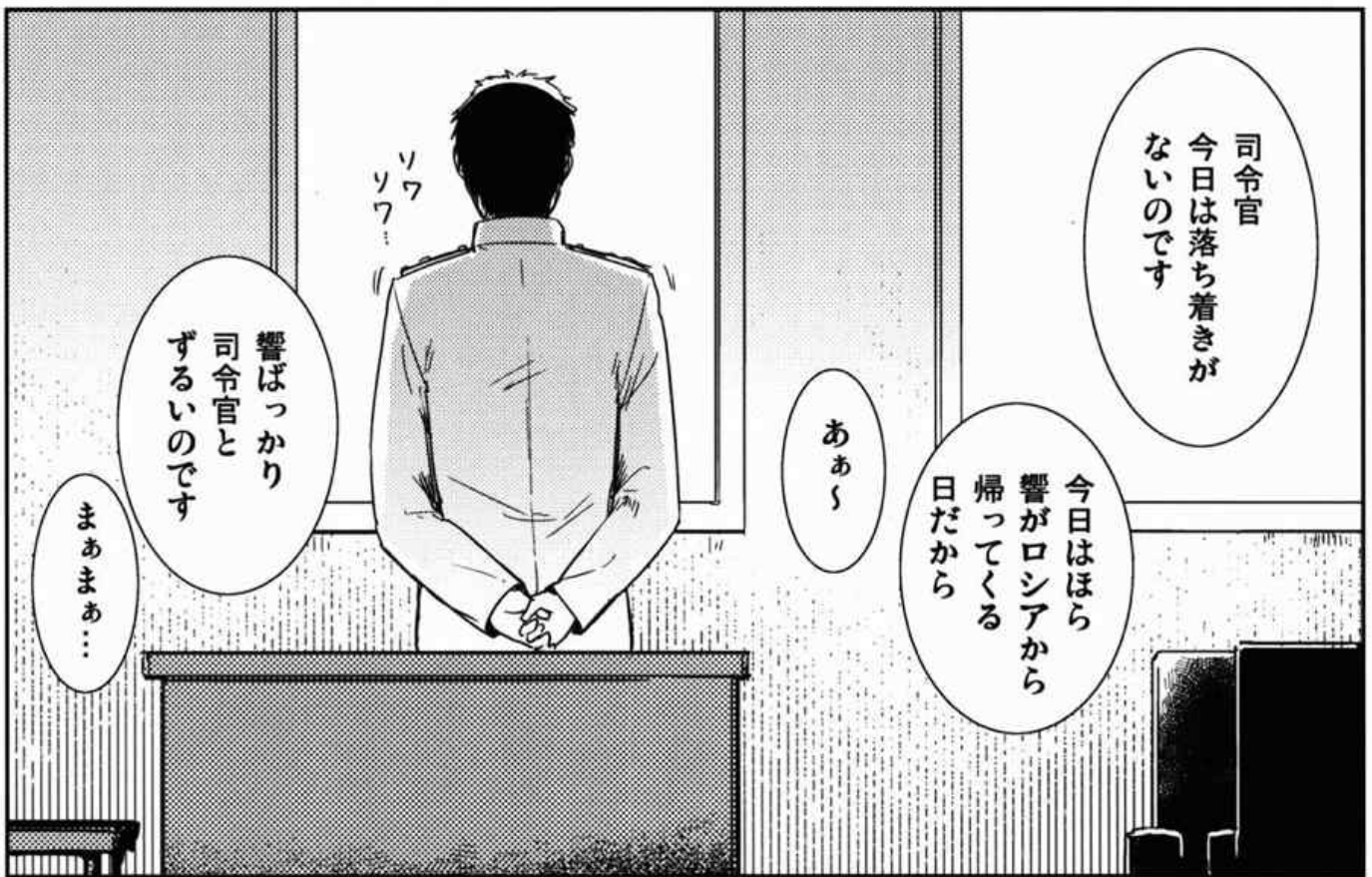
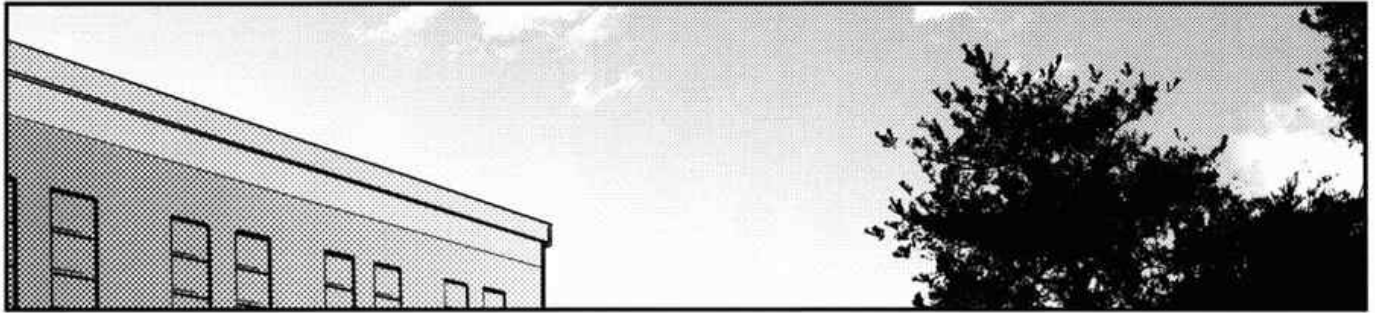
ロシア遠征の
任務だね

行くよ

私に合った
任務だよ

あの記憶も…
受け入れるヒントが
あるかもしれない







ちよっと
大人っぽく
なった？

近代化改修
したからね

それは
頼もしい

しれ…か…
も…
立ってられな…

レディとして
扱うことに
しよう









たは...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...



● きがとあ ●

最後までご覧いただきありがとうございます。
お楽しみいただけましたでしょうか…

いくつか言い訳をば。。。！

提督の顔、出すかどうか悩みました。
いっそ影の存在であるべき…！ とも思いましたが、
どうにもお話から考えていくと、会話をさせたくなり…
描き始めてから髪の設定を追加しましたが、それなら髪じょりじょり
させたかった…！
提督のイメージって、某SF雪風のブッカー氏を連想します。
(あ、これも雪風つながりですね)

ロシアかソ連か。
前半エピローグの一部ですが、どちらの表記にしようか、と。
しかし、艦これの世界は大戦の起きなかったパラレルワールド、
というのをどこかで目にした覚えがあり、あえてロシアにしました。
ヴェールヌイも成長していけばロシア美人に…

部屋に関しては、母港画面は指揮所なのか私室なのかいまいちわからず。
床をもち込んで、執務室風にしました。



…したいですね。
…のお供に、ジャムを舐めるようになりました。
…は、響をへろへろしたいところです。
…、また次の本でお会いできることを願って。

三郷なな

●奥付

信頼してるよ司令官

C85 2013/12/31

infinity line

三郷なな

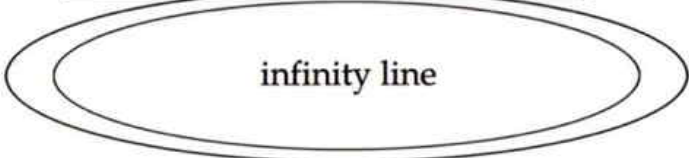
pixiv: 3105355

印刷:しまや出版

■無断転載、複写、アップロードの禁止

■18歳未満の所持閲覧購読の禁止





infinity line